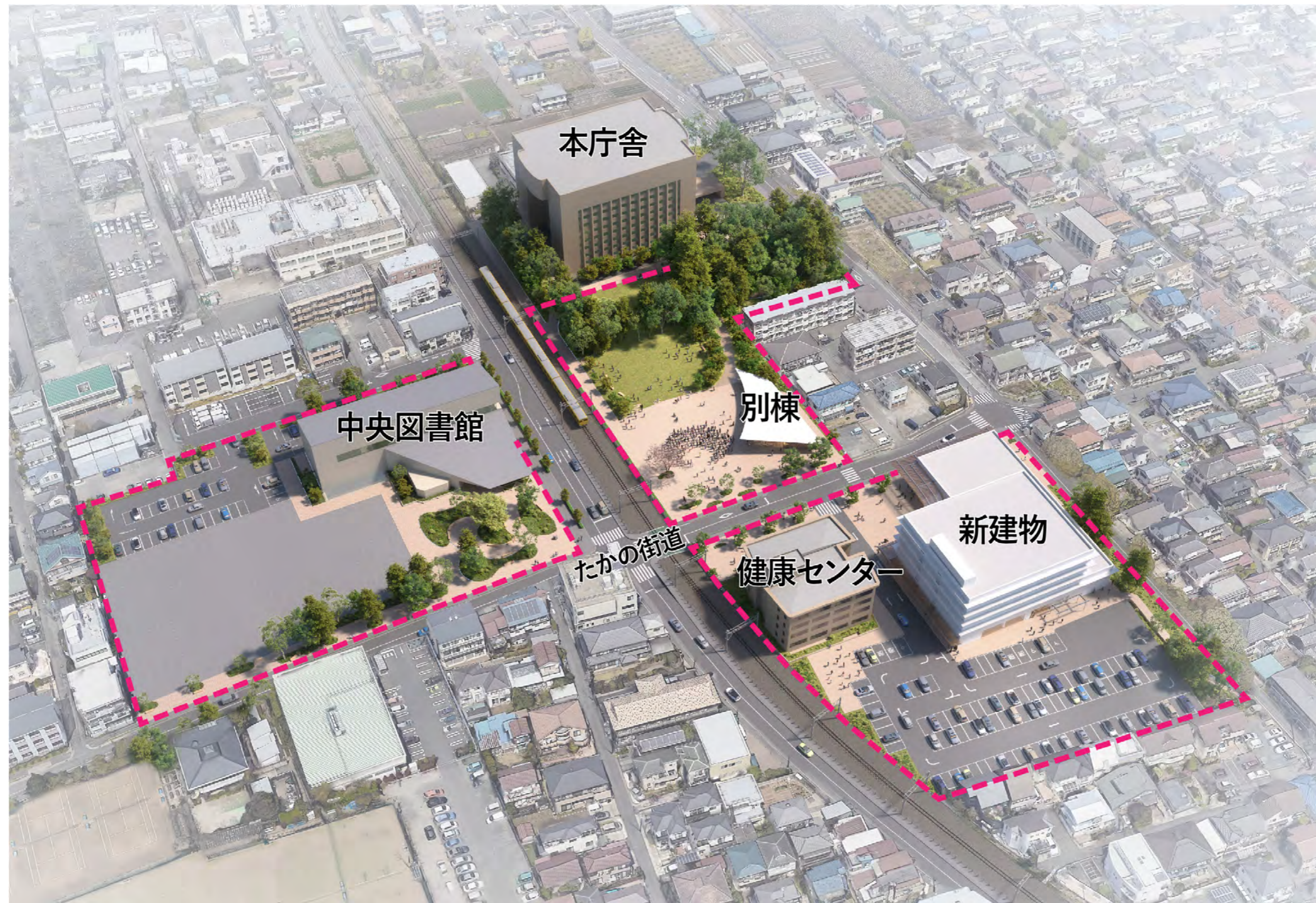




**まち・人・緑をつなぐ
開かれた活動拠点**

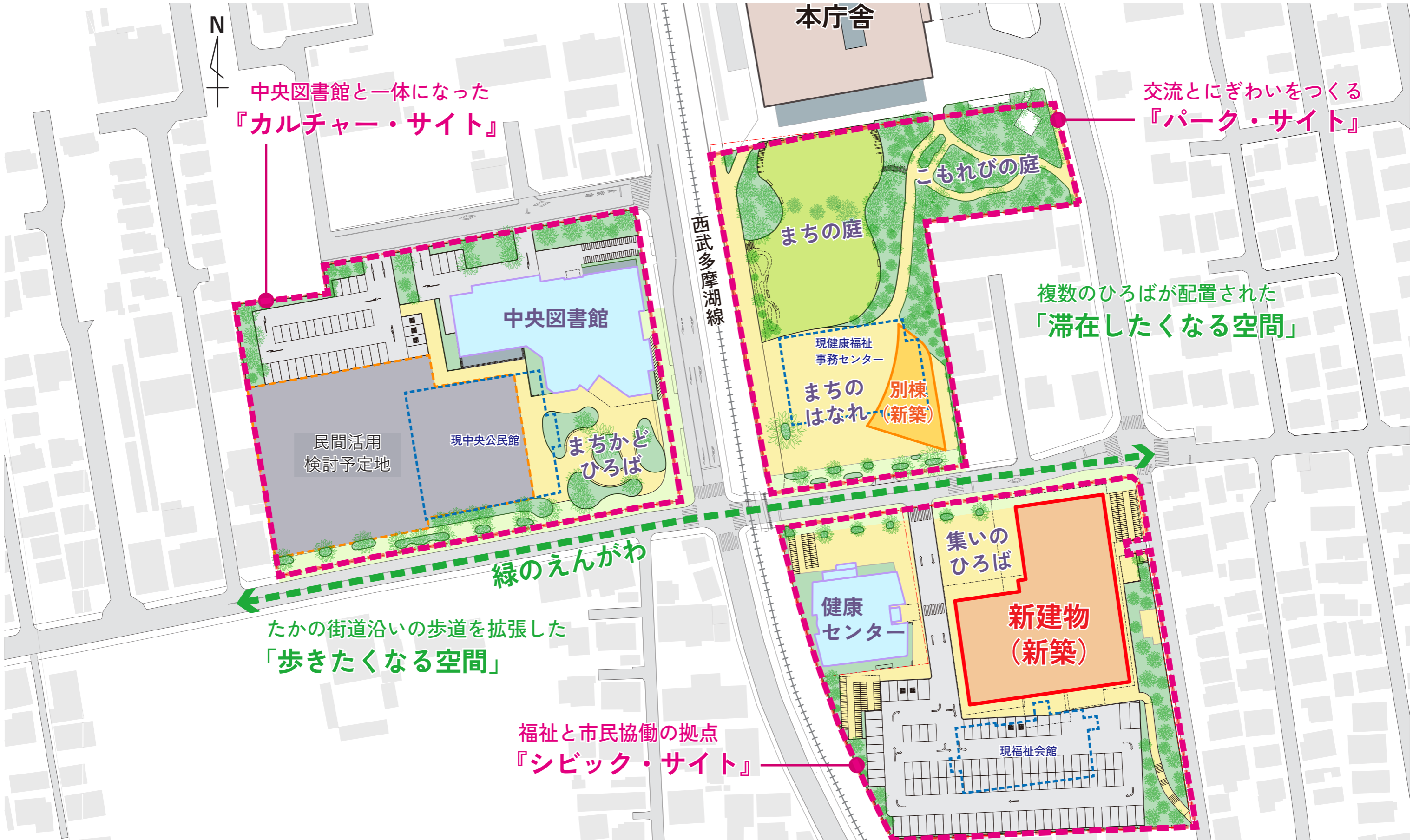


点在している行政機能等をエリアとして一体的に捉えなおし、
憩いの場、市民同士の交流をつくりだすことを目指します。

行政・防災・交流とにぎわいの拠点

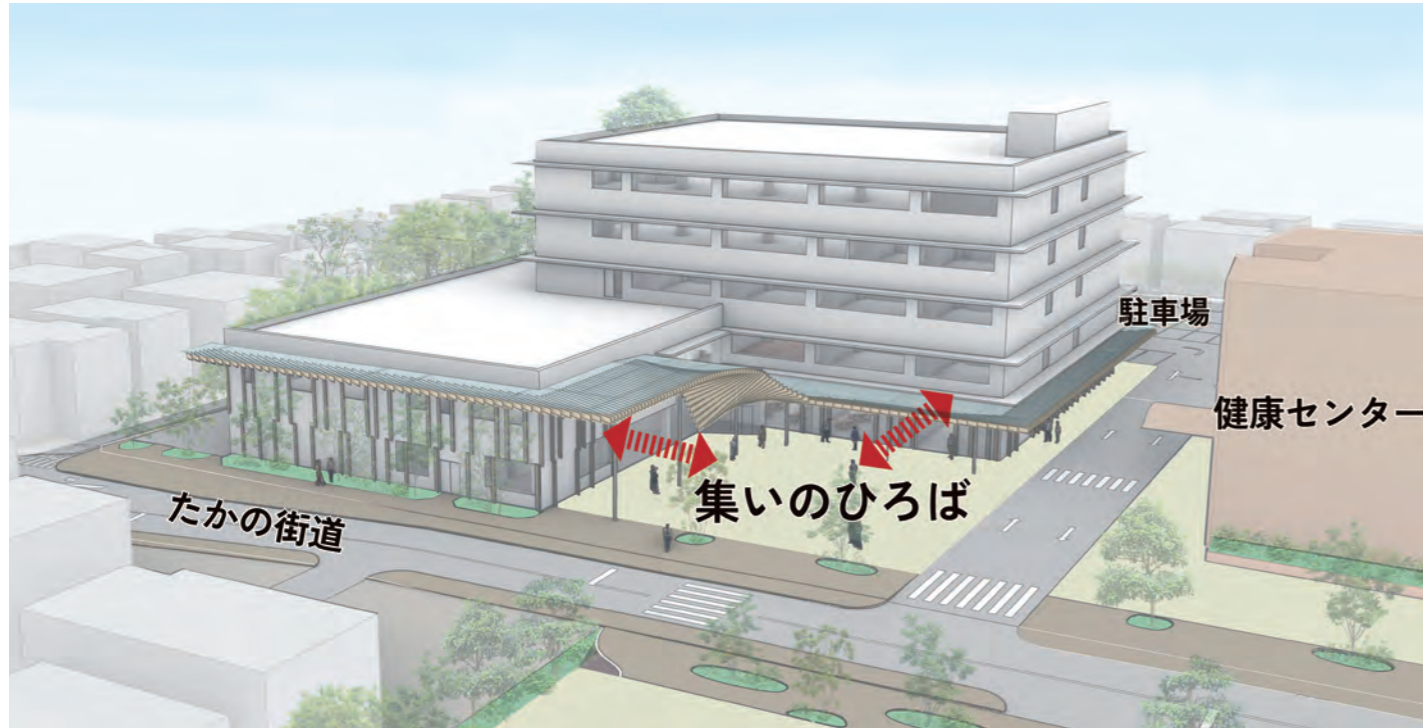
全体配置計画

- ・エリア内に複数のひろばを配置し「滞在したくなる空間」、たかの街道沿いの歩道を拡げ「歩きたくなる空間」を創出します。
- ・新建物を福社会館前市民広場に建築し、健康福祉事務センター跡地のひろばを健康センター、本庁舎、中央図書館をつなぐ場とします。

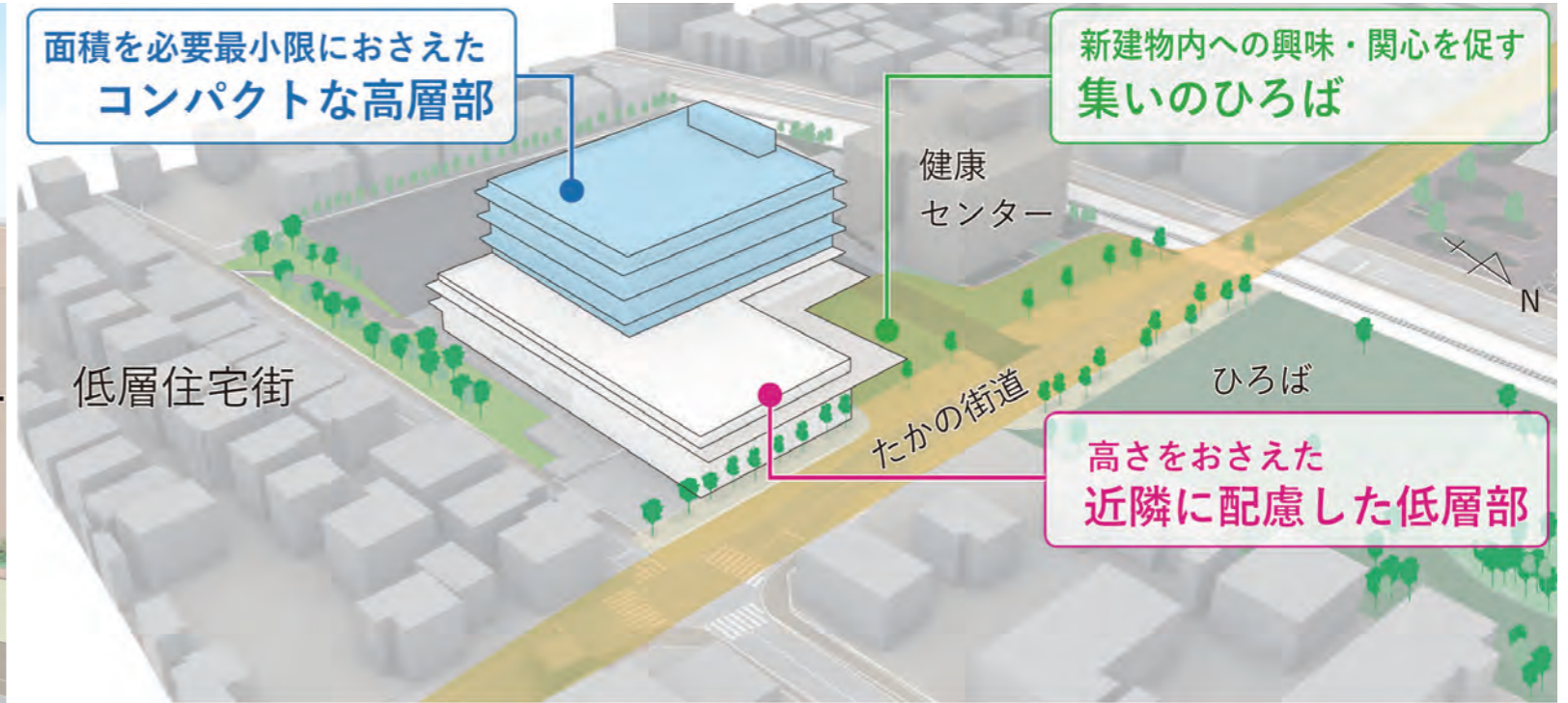


※『シビック・サイト』について、駐車場の自動車の出入口の位置などを交通管理者と協議中。また、駐輪場及び駐車場の配置及び台数を検討中。
※本資料の内容はすべて検討中のものであり、今後変更される可能性があります。p. 3/12

新建物配置計画 (シビック・サイト)



新建物内への興味・関心を促す、ひろばに開いたL字配置



隣接する住宅街に配慮して、高層部をセットバックさせたボリューム配置

新建物外観イメージ

全体外観イメージ



木調アルミルーバーによる屋敷森をイメージした景観と調和する外観

庇下空間イメージ

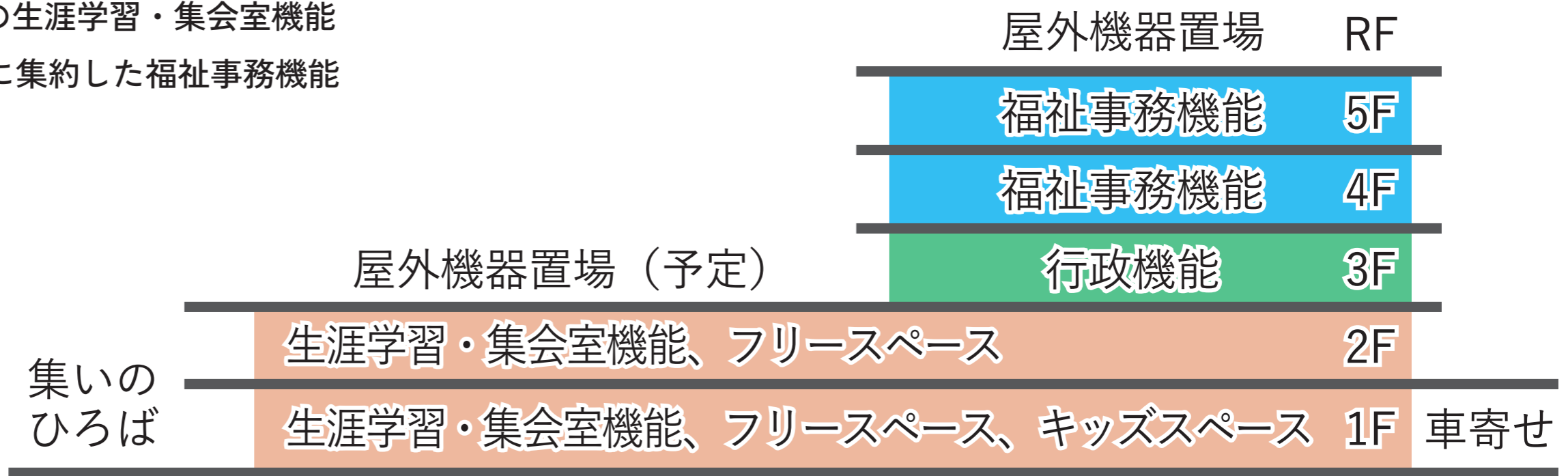


ガラス+木調アルミルーバーが作りだす、こもれびの庇下空間

新建物計画

フロア構成

- ・全ての利用者にかかれた1, 2階の生涯学習・集会室機能
- ・プライバシーに配慮して4, 5階に集約した福祉事務機能



ユニバーサルデザイン・バリアフリー

(1) トイレ

- ・障がい者等に必要の個別機能トイレを分散配置する「バリアフリースペース」(高齢者障害者等用便所)を設置するとともに、異性の親子なども利用できる、ジェンダーフリーにも配慮した計画とします。
- ・多くの市民の利用が想定される1,2階の男女トイレには、ベビーチェアやおむつ替えシートを備えます。

(2) エレベーター

- ・車椅子利用者や市民活動に要する荷物の移動が想定されることから、大きめのサイズを考慮する必要があるため、13人乗り2台の設置を検討を進めます。また、救急搬送等が可能なトランク付きの仕様を想定します。

防災機能

- ・本庁舎が被災した場合を想定し、耐震安全性の確保、マンホールトイレ、井戸、非常用発電機(72時間連続稼働)など、災害対策本部の代替施設としての機能を備えます。

環境配慮

- ・屋根や外壁の断熱化、庇による日射遮蔽、高効率な省エネルギー設備を導入するなど、環境に配慮した機能を備えます。
- ・建物の省エネ性能については、ZEB Ready(消費エネルギー50%削減)を目指します。

新建物計画

生涯学習・集会室機能の配置 (1-2F)

- ・市民活動に対する興味・関心を持ってもらえるよう、1,2階の生涯学習・集会室機能については、屋外のひろばや建物内のフリースペースから、各室内の活動が見えるようガラス張りのような空間とし、オープンなつくりや配置にします。
- ・1階については、ホール、工芸室、キッチンスタジオなどの動きのある活動を行う部屋を中心に配置します。
- ・フリースペースを立ち寄りやすい1,2階に配置することで、様々な人や世代が気軽に集い交流する場を創出します。また、フリースペースは学生が勉強する場としての活用も検討します。
- ・キッズスペースを1階に配置することで、健康センターやひろば等を利用する子育て世代にも魅力的で使いやすい施設を目指します。

1F 延床面積：2161㎡



2F 延床面積：2013㎡



新建物計画

内観イメージ① (エントランス)

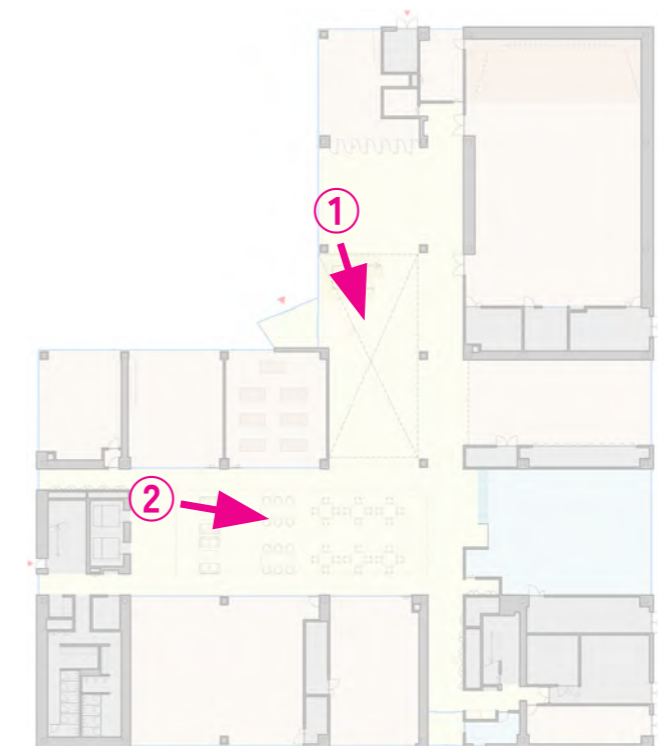


利用者を迎える2層吹抜けの開放的なエントランスロビー

内観イメージ② (フリースペース)



多世代交流を促進する憩いの場となる1,2階のフリースペース



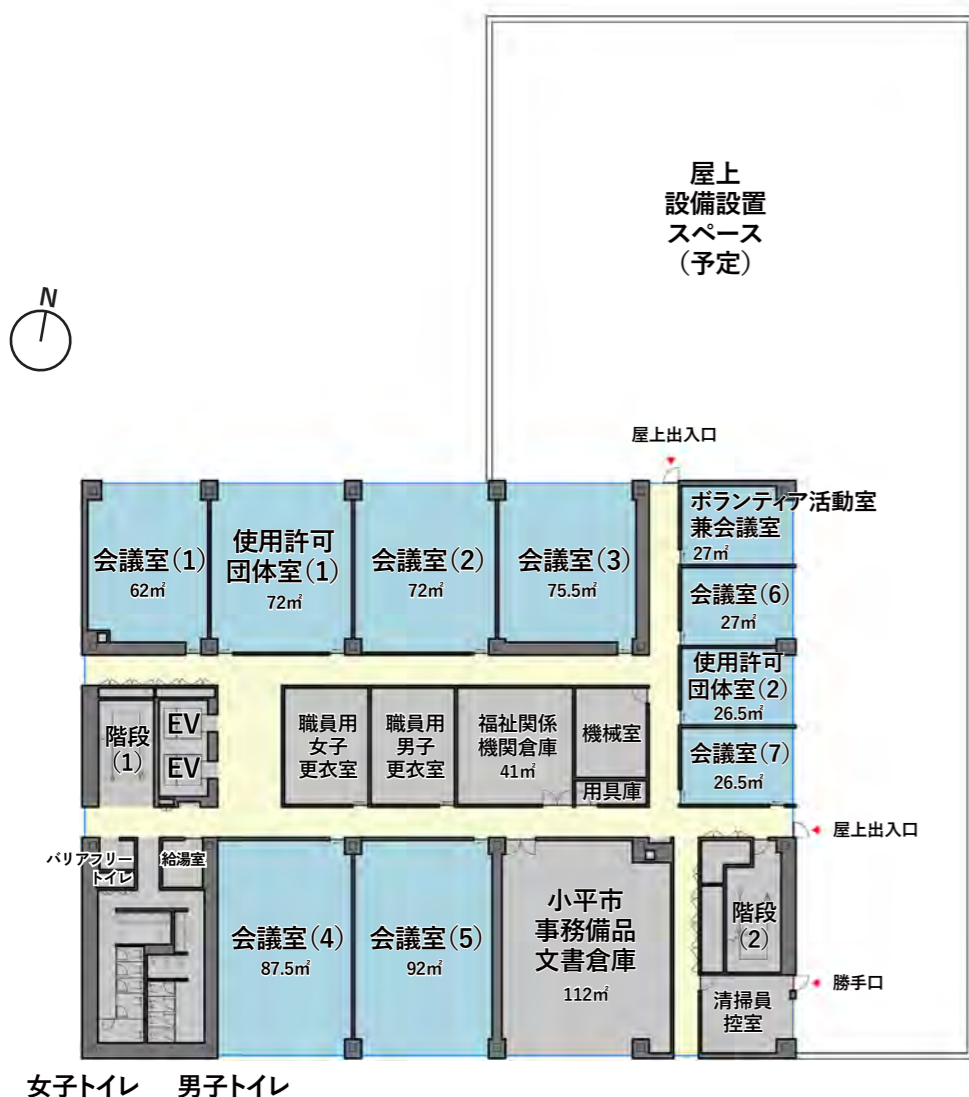
内観イメージの位置と向き

新建物計画

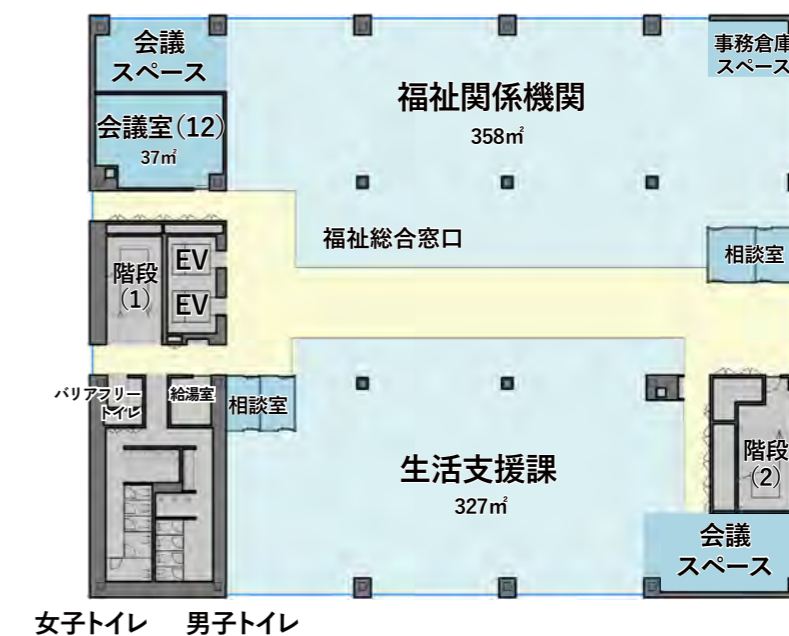
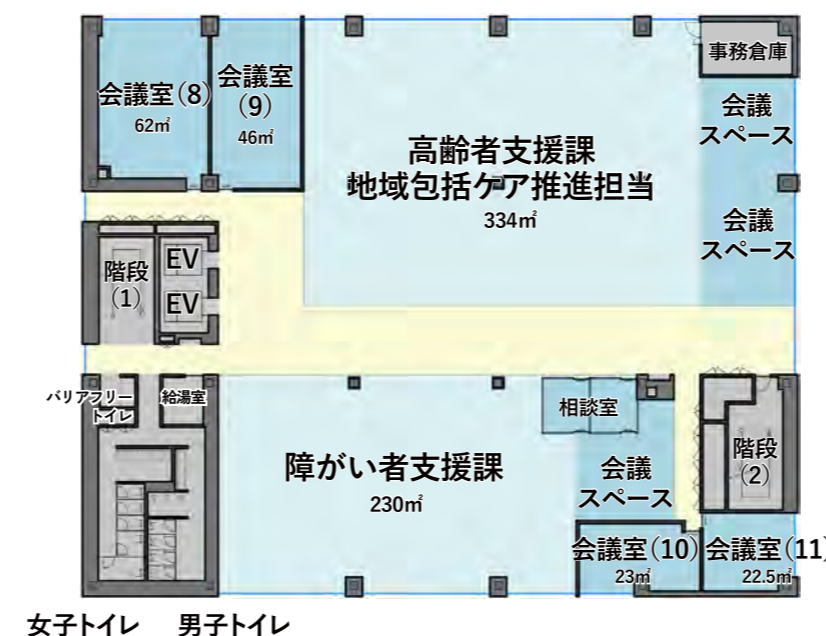
福祉事務機能・行政機能の配置（3-5F）

- ・福祉事務機能の利用者のプライバシー確保や、相談しやすい、静かで落ち着いた環境の配慮をします。
- ・福祉事務機能の利用者に対しては、複数のエレベーターなど円滑な移動に配慮した設備の設置や、分かりやすいサイン計画などにより、移動の負担の軽減に努めます。
- ・相談先を迷う方や複合的な相談に対応するため、5階に福祉総合窓口を配置します。
- ・3階は新建物内の行政機能の会議室や倉庫を設置します。

内観イメージ



木を基調とした、あたたかみのある福祉窓口カウンター



パーク・サイト計画

波柵等

自転車が本庁舎南側通路からまちの庭に進入しないように、まちの庭の北側に低めの波柵等を設置し、東西に歩行者の入口を設置します。



歩行者優先

歩行者優先(自転車徐行・バイク不可)とし、歩行者やひろば利用者の安全に配慮します。

子ども用遊具

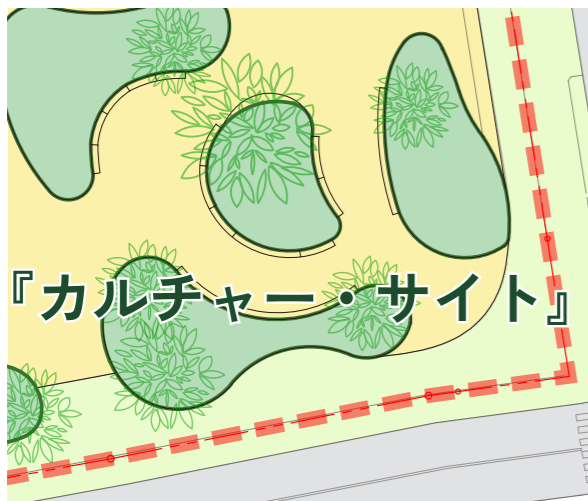
子どもにとっても魅力的なひろばとするため、子ども用の遊具を配置します。

小築山

小さい子どもが、西側通路に飛び出さないようにするための低い築山(高さ70cm内外)と低木植栽を設けます。

別棟配置

「カルチャー・サイト」や電車から「まちのはなれ」の活動が見えるように、別棟を東側へ配置します。



歩行者専用

歩行者専用とし、歩行者やひろば利用者の安全に配慮します。

木陰

既存の樹木を一部残します。夏は樹木により木陰となり、冬は落葉するため、陽だまりになります。目線レベルでは見通しが確保できるように配慮します。



草丈が低い植物

草丈が低い植物が地表面を覆い、砂埃が立たず、身体に優しいひろばにします。メンテナンス(養生)による使用できない期間ができるだけ生じないように配慮します。

バリアフリー

現状の地盤面には高低差がありますが、バリアフリーに配慮し、整備後は緩やかな勾配にします。

縁台ベンチ

既存の地震計(約1.0m四方)を覆うように、楕円や雲形の縁台ベンチ(箱型)を設置します。



写真は縁台ベンチのイメージ

別棟計画

外観イメージ

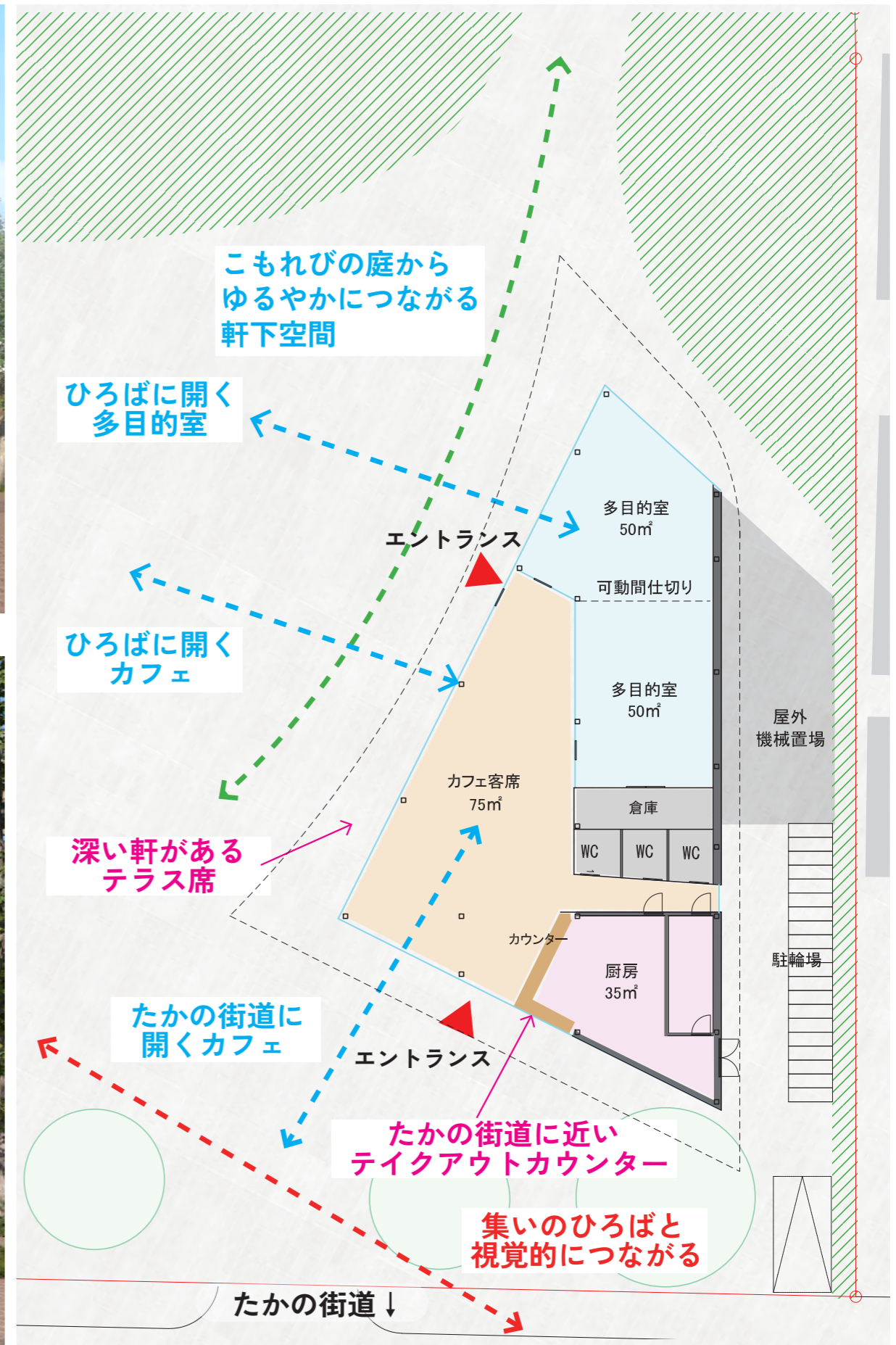


前面のひろばとつながる開口部・庇のデザイン

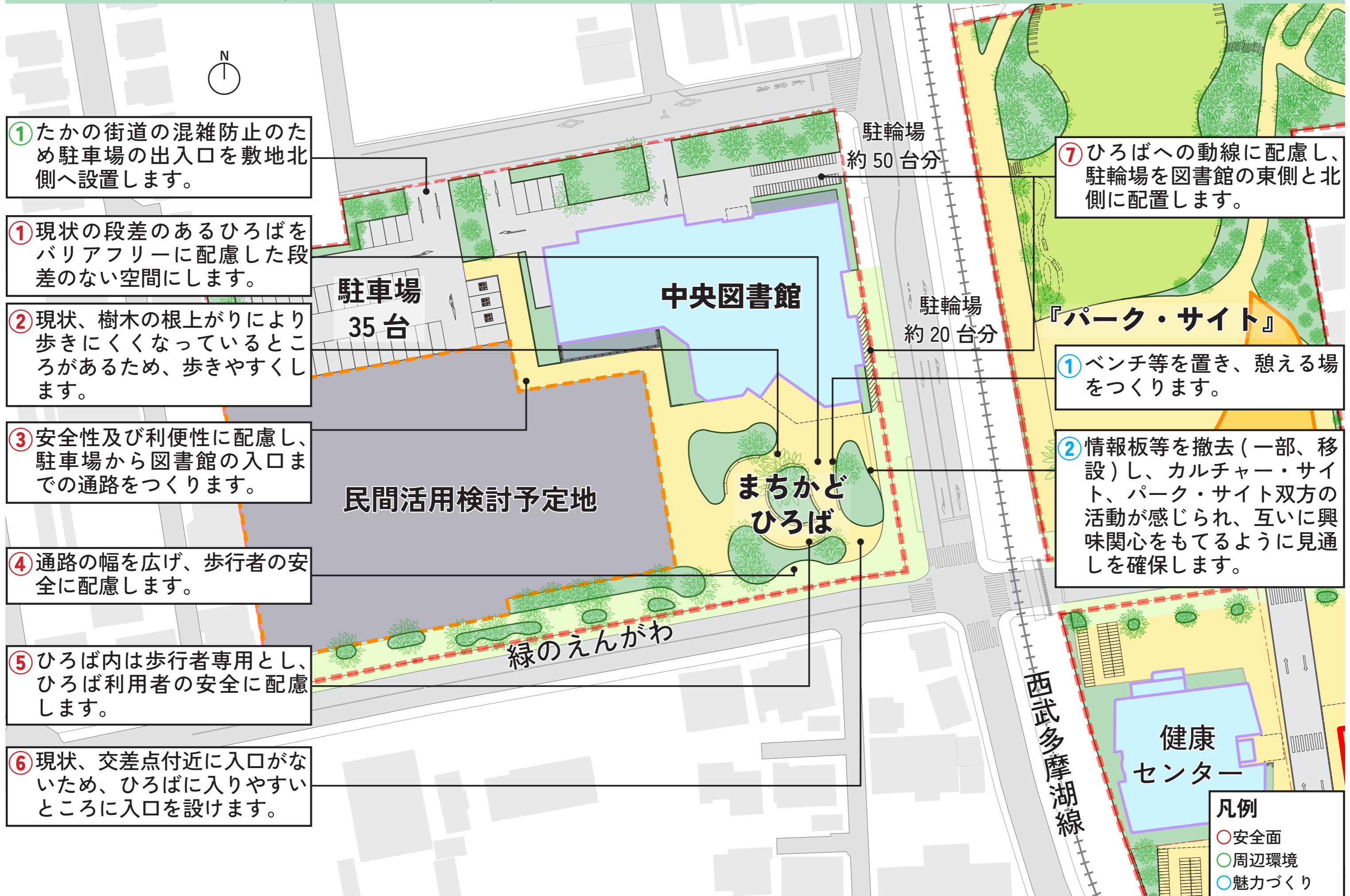


こもれびの庭につながる屋根形状、木々と呼応する外壁デザイン

平面イメージ



カルチャー・サイト（まちかどひろば）計画



① たかの街道の混雑防止のため駐車場の出入口を敷地北側へ設置します。

① 現状の段差のあるひろばをバリアフリーに配慮した段差のない空間にします。

② 現状、樹木の根上がりにより歩きにくくなっているところがあるため、歩きやすくします。

③ 安全性及び利便性に配慮し、駐車場から図書館の入口までの通路をつくります。

④ 通路の幅を広げ、歩行者の安全に配慮します。

⑤ ひろば内は歩行者専用とし、ひろば利用者の安全に配慮します。

⑥ 現状、交差点付近に入口がないため、ひろばに入りやすいところに入口を設けます。

⑦ ひろばへの動線に配慮し、駐輪場を図書館の東側と北側に配置します。

① ベンチ等を置き、憩える場をつくります。

② 情報板等を撤去（一部、移設）し、カルチャー・サイト、パーク・サイト双方の活動が感じられ、互いに興味関心をもてるように見通しを確保します。

凡例

- 安全面
- 周辺環境
- 魅力づくり

まちかどひろばイメージ



- バリアフリーに配慮した段差のない空間にします。
- 建物とひろばの間に散歩道やベンチ等を設置し、図書に関するイベント等の開催もできる、ひろばとします。

緑のえんがわイメージ



- たかの街道の歩道に沿って約5mの拡張帯を設けた、木陰のあるゆったりとした歩行者空間とします。
- 東西に分かれたエリアを視覚的につなぐ、既存樹木を活かした植栽計画とします。